

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2018-36454(P2018-36454A)

【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-009

【出願番号】特願2016-168951(P2016-168951)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 4 1 E

G 09 G 3/20 6 2 3 G

G 09 G 3/20 6 1 1 A

G 09 G 3/20 6 1 2 J

G 02 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月18日(2019.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1フレーム毎に複数の1ビットのサブフレームデータを組み合わせた階調レベルの画像を表示する、マトリックス状に設けられた複数の画素と、

前記複数の画素のうちデータ書き込み対象として選択された行のn個の画素のそれぞれに対してサブフレームデータを供給するn個のラッチ回路と、

前記n個のラッチ回路から前記n個の画素へのサブフレームデータのそれぞれの供給タイミングを調整するタイミング調整回路と、

を備え、

前記タイミング調整回路は、

複数のインバータを有し、

前記複数のインバータを用いて異なる2つの行方向に遅延させることによって、前記n個のラッチ回路のうちの一部である第1ラッチ回路群から対応する画素へのサブフレームデータの供給タイミングと、前記n個のラッチ回路のうちの他の一部である第2ラッチ回路群から対応する画素へのサブフレームデータの供給タイミングとを異ならせることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】

前記タイミング調整回路は、前記n個のラッチ回路が配置される領域とは異なる領域に形成されている、

請求項1に記載の液晶表示装置。